

令和3年度版 西部圏域振興計画「数値目標」一覧表

資料4-1

30項目 105項目 89項目 34項目 34項目

数値目標 番号	施策・数値目標	三つの国難			二つの社会	
		新型コロナ	人口減少	災害列島	デジタル	グリーン
重点項目1 観光・移住・交流による地域活力の創生						
中項目1 アフターコロナを見据えた「にし阿波」プロモーション体制づくり						
1	●県西部圏域において「事業者版スマートライフ宣言」または「ガイドライン実践店ステッカー」を掲示し、感染対策に取り組んでいる観光事業者等の件数（累計） ⑰→→⑳300件	○				
2	●観光事業者等への衛生対策等の研修回数 ⑰→→⑳年間3回以上	○				
3	●観光事業者等による危機対応訓練等の実施 ⑰→→⑳年間1回以上			○		
主4	●BtoCの取組みとして、オンラインやSNS等を活用し、にし阿波の情報を発信した延べ外国人数【主要指標】 ⑰→→⑳17,000人	○	○		○	
主5	●BtoBの取組みとして、アフターコロナを見据え、海外の旅行会社、メディア等へのリアルとオンラインを活用したプロモーション・商談会の開催【主要指標】 ⑰→→⑳15回	○	○		○	
中項目2 深化する「にし阿波」魅力づくり						
主6	●DMOが造成したリアルとオンラインによるハイブリッド型の体験・滞在プログラムの参加者数【主要指標】 ⑰703人→⑳1,000人	○	○		○	
7	●BtoCの取組みとして、オンラインやSNS等を活用し、にし阿波の情報を発信した延べ外国人数【再掲】 ⑰→→⑳17,000人	○	○		○	
8	●リアルとオンラインを活用したハイブリッド型による体験・滞在プログラムのファミツアーの催行回数（累計） ⑰→→⑳6回	○	○		○	
9	●スポーツやアクティビティと観光を組み合わせた商品開発件数（累計） ⑰→→⑳12件		○			
10	●ワールドマスターズゲームズ2021関西のオープン競技であるラフティング及びタッチラグビーの開催 ⑳開催		○			
11	●移住者数 ⑰234人→⑳年間240人以上	○	○			
12	●移住相談件数 ⑰193件→⑳260件	○	○			
主13	●ワーケーション等を実施する国内外企業数【主要指標】 ⑰→→⑳15社	○	○		○	
14	●地元企業への就職や起業に向けた支援者数 ⑰→→⑳年間20人以上	○	○			
15	●「にし阿波就農・移住応援隊」の創設 ⑰→→⑳創設	○	○			
16	●オンライン等を活用した「にし阿波就農・移住応援隊」による農業研修支援者数 ⑰→→⑳年間5人以上	○	○		○	
中項目3 地域を挙げた「おもてなし」態勢づくり						
主17	●「にし阿波」を訪れた観光客の満足度（全国の13観光圏共通の調査形式による、7段階（大変満足・満足・やや満足・どちらでもない・やや不満・不満・大変不満）のうち「大変満足」の割合）【主要指標】 ⑰20%→⑳25%		○			
18	●圏域内での観光消費額（一人あたり） ⑰27,416円→⑳30,000円		○			
19	●ニューノーマルに対応したにし阿波体験プログラムのイベント数 ⑰78イベント→⑳90イベント	○	○			
20	●観光地域づくりマネージャーの養成数（累計） ⑰15人→⑳22人		○			

数値目標 番号	施策・数値目標	三つの国難			二つの社会	
		新型コロナ	人口減少	災害列島	デジタル	グリーン
21	●徳島自動車道（脇町IC～美馬IC 延長4.8km）の付加車線設置 ⑰→⑲事業着手・⑳～㉒事業促進中		○	○		
22	●一般国道32号猪ノ鼻道路（延長8.4km）の整備 ⑰工事施工中→⑳供用		○	○		
23	●にし阿波～剣山・吉野川観光園のアクセスルートの整備箇所数（累計） ⑰17箇所→⑳25箇所		○	○		
24	●外国人にも分かりやすい観光・地点案内表示の設置数（累計） ⑰30基→⑳228基		○			
25	●「妊婦向け優先駐車スペース」など子育て応援施設を確保した「道の駅」の駅数（累計） ⑰→⑳4駅		○			
26	●道路情報板へのイベント情報等の表示回数 ⑰20回以上→⑲～㉒年間20回以上		○		○	
27	●デジタル技術を活用した事業の推進による好事例の顕彰制度の創設 ⑰→⑳創設		○		○	
重点項目2 豊かな地域環境の次世代継承						
中項目1 美しい自然環境との共生						
28	●希少野生植物の調査や保護を担う人材の育成（累計） ⑰→⑳20人		○			○
29	●自然保護や登山マナー向上に向けた啓発活動実施回数 ⑰4回→⑳8回		○			○
主30	●「剣山サポータークラブ」の会員数（累計）【主要指標】 ⑰621人→⑳800人		○			○
31	●登山道の点検・保守の実施 ⑰→⑲～㉒年間6回以上			○		○
32	●剣山登山道ナビシステムのダウンロード数（累計） ⑰→⑳3,700件		○		○	○
33	●遭難防止標識への外国語併記の追加件数 ⑰→⑲～㉒年間2件			○		
34	●ニホンジカ捕獲頭数（吉野川南西ユニット） ⑰5,209頭 →⑲～㉒県ニホンジカ適正管理計画の年間捕獲目標以上			○		○
中項目2 良好な地域環境の創造						
35	●官民協働型維持管理の参加団体数 ⑰28団体→⑲～㉒年間30団体以上		○			
主36	●あわ産LED道路照明灯の設置基数（累計）【主要指標】 ⑰373基→⑳1,030基		○			○
37	●「にし阿波環境塾」の開催回数 ⑰7回→⑲～㉒年間7回以上		○			○
38	●「にし阿波環境塾」受講後、自らのこととして環境意識を高めた受講者の割合（中学生以上を対象とした講座） ⑰→⑳～㉒80%以上		○			○
39	●管内の合併浄化槽設置届出数（累計） ⑰8,273基→⑳9,200基		○			○
40	●浄化槽教室の開催や市町等との連携による啓発回数 ⑰7回→⑲～㉒年間7回以上		○			○
41	●特定事業場等への監視・指導等回数 ⑰45回→⑲～㉒年間45回以上			○		○
42	●産業廃棄物排出事業者等研修会の受講者数 ⑰24人→⑲～㉒年間25人以上			○	○	○

数値目標 番号	施策・数値目標	三つの国難			二つの社会	
		新型コロナ	人口減少	災害列島	デジタル	グリーン
中項目3 環境資源の積極的な活用推進						
43	●鳥獣被害防止施設の整備集落数（累計） ⑰159集落 → ⑳185集落		○			○
44	●鳥獣被害対策モデル集落の育成（累計） ⑰2集落 → ⑳22集落		○			○
45	●「阿波地美栄」取扱店舗数（累計） ⑰17店舗 → ⑳26店舗		○			
主46	●食肉処理加工処理頭数【主要指標】 ⑰238頭 → ⑲～⑳年間550頭以上		○			
47	●森林経営管理に関する調査計画全体に対する進捗率（美馬管内） ⑰→ → ⑳25%		○	○		○
48	●森林経営管理に関する調査計画全体に対する進捗率（三好管内） ⑰→ → ⑳15%		○	○		○
49	●「にし阿波循環型林業支援機構」の支援による造林面積 ⑰年間54ha* → ⑲～⑳年間60ha *過去3年平均		○	○		○
50	●薪、チップ、ペレットの生産量 ⑰45,640m ³ → ⑳55,000m ³		○			○
51	●特定建設資材廃棄物のリサイクル率 ⑰100% → ⑲～⑳100%			○		○
重点項目3 誰もが安全で安心できる地域社会の形成						
中項目1 広域防災・受援体制の確立						
52	●第2期にし阿波防災行動計画の策定 ⑰→ → ⑲策定 ⑳～㉑推進		○	○		
53	●地域内におけるUTM座標を活用した研修・訓練の実施 ⑰→ → ⑲～㉑年間5回以上		○	○	○	
54	●西部総合県民局・美馬庁舎の改修 ⑰→ → ⑳完成	○		○	○	
主55	●防災拠点である美馬庁舎と西部防災館を活用した 危機事象対応訓練【主要指標】 ⑰→ → ⑲～㉑年間2回以上			○		
56	●県災害対策本部機能訓練の実施回数 ⑰1回 → ⑲～㉑年間1回以上			○		
57	●職員・リエゾン要員の防災訓練（図上訓練を含む）・研修の実施回数 ⑰3回 → ⑲～㉑年間3回以上			○		
58	●通信途絶状態等を想定した図上訓練の実施回数 ⑰1回 → ⑲～㉑年間1回以上		○	○		
59	●物流・広域受援の現地訓練 ⑰→ → ⑲～㉑年間2回以上			○		
60	●オンライン等を活用した 「防災」及び「健康増進」講座等実施回数 ⑰→ → ⑲～㉑年間45回以上	○	○	○	○	
中項目2 災害に備えた着実な基盤整備						
61	●土砂災害警戒区域の指定率 ⑰47% → ⑲100%			○		
62	●市町村が作成する土砂災害防止法に基づくハザードマップの作成・公表率 ⑰91% → ⑳100%			○		
63	●土砂災害の危険性のある要配慮者利用施設及び避難所の 保全施設数（累計） ⑰154施設 → ⑳172施設			○		
64	●祖谷川流域の直轄地すべり対策事業の促進（善徳地すべり防止区域） ⑰工事施工中 → ⑲～㉑工事促進中			○		

数値目標 番号	施策・数値目標	三つの国難			二つの社会	
		新型コロナ	人口減少	災害列島	デジタル	グリーン
65	●吉野川水系直轄砂防事業の促進 ⑰工事施工中 → ⑲～⑳工事促進中			○		
主66	●農林水産省指定の地すべり防止区域内等において、土砂災害の危険度が高く、緊急的かつ集中的に保全する人家数（累計）【主要指標】 ⑰138戸 → ⑳235戸			○		
67	●吉野川上流無堤地区への事業着手（累計） ⑰2箇所 → ⑳5箇所			○		
68	●吉野川加茂第二箇所の整備の促進 ⑰工事施工中 → ⑲～⑳工事促進中			○		
69	●吉野川沼田箇所の整備の促進 ⑰事業着手 → ⑲～⑳工事促進中			○		
70	●早明浦ダムの放流設備の増設 ⑰事業着手 → ⑲～⑳工事促進中			○		
71	●中鳥地区河川防災ステーションの整備 ⑰事業着手 → ⑳完成			○		
72	●老朽農業用ため池の整備による保全戸数（累計） ⑰2,322戸 → ⑳2,388戸			○		
73	●全ての防災重点ため池を対象とした「ため池マップ」の作成 ⑲作成支援 ⑳公表			○		
74	●木造住宅等の耐震診断から耐震改修や住替えへの支援 ⑰100% → ⑲～⑳県民ニーズに100%対応		○	○		
75	●リフォームを伴う「木造住宅の耐震化工事」に対する支援 ⑰100% → ⑲～⑳県民ニーズに100%対応		○	○		
76	●一般国道32号猪ノ鼻道路（延長8.4km）の整備【再掲】 ⑰工事施工中 → ⑳供用		○	○		
77	●山腹崩壊や落石に起因する、全面通行止に伴う孤立を防止するための道路防災対策の推進		○	○		
78	●間伐実施面積（累計） ⑰15,670ha → ⑳18,400ha		○	○		○
79	●事前伐採を行った道路の延長距離（累計） ⑰10.8km → ⑳17.5km			○		
中項目3 地域で地域を守る活動の推進						
主80	●「命と暮らしを守る」防災出前講座・訓練等の開催回数【主要指標】 ⑰→ ⑲～⑳年間80回以上		○	○		
81	●防災出前講座を受講した団体の満足度 ⑰→ ⑳～㉑80%以上		○	○		
82	●西部防災館における自主防災組織活性化研修 ⑰→ ⑲～⑳年間4回		○	○	○	
83	●臨時ヘリポートの全箇所点検 ⑰→ ⑲～⑳各市町 年間1回以上		○	○		
84	●孤立可能性集落等での通信訓練の実施回数 ⑰→ ⑲～⑳各市町 年間2回以上		○	○	○	
85	●避難行動要支援者に関する啓発・訓練の実施回数 ⑰→ ⑲～⑳各市町 年2回以上			○		
86	●小中高生への防災学習の実施回数 ⑰7回 → ⑲～⑳年間8回以上		○	○		
87	●災害時コーディネーター会議・訓練等の開催回数 ⑰2回 → ⑲～⑳年間2回以上			○		
88	●災害や感染症等の健康危機管理研修会への参加者数（オンラインでの参加者を含む。） ⑰143人 → ⑲～⑳年間150人以上	○		○	○	

数値目標 番号	施策・数値目標	三つの国難			二つの社会	
		新型コロナ	人口減少	災害列島	デジタル	グリーン
89	●家畜防疫演習等の実施回数 ⑰4回 → ⑲～⑳年間4回以上			○		
90	●ペット動物の適正な管理に関する啓発世帯数 ⑰396世帯 → ⑲～⑳年間400世帯以上			○		
91	●動物由来感染症モニタリング検査の実施検体数 ⑰40検体* → ⑲～⑳年間40検体以上 *過去4年平均			○		
92	●動物愛護推進員等と連携した動物愛護及び 災害時ペット対策に関する普及啓発回数 ⑰5回 → ⑲～⑳年間5回以上			○		
93	●エシカル消費の普及や消費者啓発を推進する 講座及び活動を紹介するパネル展等の開催 ⑰3回 → ⑲～⑳年間4回以上			○		○
94	●ニューノーマルに対応した 幼・小・中・高へのSDGs教育実施回数 ⑰ー → ⑲～⑳年間4回以上	○	○			
95	●消費者問題出前講座受講者数 ⑰272人 → ⑲～⑳年間280人以上			○		○
96	●とくしま食品表示Gメンの立入調査事業者数 ⑰20事業者 → ⑲～⑳年間20事業者以上			○		○
重点項目4 誰もが幸せに暮らせる地域の実現						
中項目1 子どもの育ちをはぐくみ、支える地域づくり						
主97	●妊娠・出産・子育てに関する相談支援件数【主要指標】 ⑰56件 → ⑲～⑳年間60件以上		○			
98	●教育機関と連携した健康教育の実施校数 ⑰14校 → ⑲～⑳年間15校以上		○			
99	●子ども・子育てに関する情報発信・啓発活動回数 ⑰12回 → ⑲～⑳年間12回以上		○			
100	●「妊婦向け優先駐車スペース」など子育て応援 施設を確保した「道の駅」の駅数（累計）【再掲】 ⑰ー → ⑳4駅		○			
101	●放課後児童支援員の認定数（累計） ⑰84人 → ⑳170人		○			
102	●発達障がい児のための研修会の受講満足度 ⑰ー → ⑲～⑳80%以上		○			
103	●母子・父子自立支援プログラムを活用した就職率 ⑰70% → ⑲～⑳年間70%以上		○			
104	●ひとり親家庭向け親子交流イベント参加者数 ⑰70人 → ⑳～㉑年間80人以上		○			
105	●警察や市町など関係者向け児童虐待防止研修会の受講者数 （オンラインでの受講者を含む。） ⑰25人 → ⑲～⑳年間30人以上	○	○		○	
106	●県、市町村等を活用した、児童虐待防止に関する啓発コーナ ー設置箇所数 ⑰8箇所 → ⑲～⑳年間8箇所以上		○			
107	●DV被害者等支援ネットワーク研修会の 受講者数（オンラインでの受講者を含む。） ⑰31人 → ⑲～⑳年間30人以上	○		○	○	
108	●県、市町村等を活用したDVや性暴力被害の早期発見・早期対応等 に関する啓発コーナー設置箇所数【再掲】 ⑰8箇所 → ⑲～⑳年間8箇所以上			○		
中項目2 心を寄せ合う地域福祉の充実						
主109	●認知症サポーター数（累計）【主要指標】 ⑰8,345人 → ⑳11,200人			○		
110	●地域医療に関する人材育成研修会の受講 者数（オンラインでの受講者を含む。） ⑰151人 → ⑲～⑳年間160人以上	○		○	○	
111	●県健康福祉祭典西部サテライト大会参加者数 ⑰700人* → ⑲～⑳年間700人以上 *過去4年平均			○		

数値目標 番号	施策・数値目標	三つの国難			二つの社会	
		新型コロナ	人口減少	災害列島	デジタル	グリーン
112	●シルバー大学校（美馬校・東みよし校）・大学院 ICT講座（東みよし校）の受講者数 ⑰88人（定員85人）→⑱～㉒年間85人以上			○		
113	●新あわ学講座の開催 ⑰14回→⑱～㉒年間14回以上		○		○	
114	●講座参加者の満足度 ⑰80%→⑱～㉒年間80%以上		○		○	
115	●こども向けの講座の開催 ⑰→→⑱～㉒年間50回以上		○		○	
116	●地域生活支援拠点の設置 ⑰→→⑳設置			○		
117	●就職を希望する障がい者とのマッチングに 参加した企業数 ⑰8社→⑱～㉒年間10社以上			○		
118	●障がい者や関係機関を対象とした研修会等の 開催回数 ⑰6回→⑱～㉒年間6回以上			○		
119	●「にし阿波型チャレンジドファーム」における 障がい者就労者数 ⑰18人→㉑40人		○	○		
120	●にし阿波型農福連携による6次化商品の開発件数（累計） ⑰→→㉑4件		○	○		
121	●「西部健康防災公園」を活用した障がい者スポーツ交流会等への 参加者数（オンラインでの参加者を含む。） ⑰→→⑱～㉒年間200人以上	○	○		○	
122	●西部圏域生活困窮者自立支援ネットワーク 会議の開催 ⑰1回→⑱～㉒年間2回			○		
123	●生活困窮者自立支援スキルアップ研修会への 参加人数 ⑰25人→⑱～㉒年間30人以上			○		
124	●「フードバンク・にし阿波」の開設 ㉑開設			○		○
125	●自立支援プログラムを活用した生活保護受給者の就職率 ⑰66%*→⑱～㉒年間70%以上 *過去4年平均			○		
126	●パーキングパーミットの交付件数（累計） ⑰1,761件→㉑3,200件			○		
127	●西部圏域の都市計画区域マスタープランの 見直し数 ⑰→→㉑3区域		○	○		○
中項目3 健康寿命延伸に向けた地域力の向上						
主128	●圏域における糖尿病死亡率（人口10万対） （暦年）【主要指標】 ⑰26.0→⑱～㉒改善			○		
129	●「にし阿波・糖尿病サポーター」養成者数 （オンラインでの受講者を含む。）（累計） ⑰→→㉑60人	○		○	○	
130	●教育機関と連携した健康教育の実施校数【再掲】 ⑰14校→⑱～㉒年間15校以上			○		
131	●野菜摂取量アップ対策及び食環境づくりに 取り組む事業所の登録数（累計） ⑰86事業所→㉑105事業所			○		
132	●むし歯・歯周病予防に向けた訪問指導数 ⑰28箇所→⑱～㉒年間30箇所以上			○		
133	●「西部健康防災公園」を活用したスポーツや レクリエーションでの利用者数 ⑰91,772人→㉒年間10万人以上		○			
134	●オンライン等を活用した 「防災」及び「健康増進」講座の実施回数【再掲】 ⑰→→⑱～㉒年間45回以上	○	○	○	○	
135	●特定健診における喫煙率 ⑰12.9%→㉑11.5%			○		
136	●小中学生等を対象とした喫煙防止講座の実施校数 ⑰10校→⑱～㉒年間10校以上			○		

数値目標 番号	施策・数値目標	三つの国難			二つの社会	
		新型コロナ	人口減少	災害列島	デジタル	グリーン
137	●飲食店等を対象とした受動喫煙防止に関する啓発活動回数 ⑰→→⑲～⑳年間8回以上			○		
138	●「はあとケア相談会」等における相談支援件数 ⑰400件→⑲～⑳年間400件以上			○		
139	●「おせっかい塾」等の人材養成講座受講者数 ⑰100人→⑲～⑳年間100人以上			○		
140	●自殺予防サポーター数（累計） ⑰5,226人→⑳7,200人			○		
141	●高校生の「こころのピアスタッフ」養成者数 ⑰→→⑳～㉑年間10人以上			○		
142	●ひきこもりに関する相談支援件数 ⑰38件→⑲～⑳年間40件以上			○		
143	●地域医療支援リーダー数（累計） ⑰279人→㉑430人			○		
144	●地域医療に関する人材育成研修会の受講者数（オンラインでの受講者を含む。）【再掲】 ⑰151人→⑲～⑳年間160人以上	○		○	○	
145	●救急医療対策連絡協議会の開催回数 ⑰2回→⑲～⑳年間2回以上			○		
重点項目5 持続可能な地域経済の推進						
中項目1 「にし阿波型もうかる農業」の確立と推進						
146	●オンライン等を活用した世界農業遺産フォーラム等の開催回数（累計） ⑰→→㉑3回	○	○		○	
主147	●「世界農業遺産ブランド」認証件数(累計) 【主要指標】 ⑰→→㉑100件		○			
148	●とくしま農林漁家民宿経営者への衛生対策等の啓発回数 ⑰→→㉑年間3回以上	○	○			
149	●「世界農業遺産」の戦略品目であるそば販売作付面積 ⑰28,7ha→㉑33ha		○			
150	●「世界農業遺産」の戦略品目であるごうしゅいもを栽培する農林漁家民宿等の数 ⑰25戸→㉑50戸		○			
151	●「にし阿波就農・移住応援隊」の創設【再掲】 ⑰→→㉑創設	○	○			
152	●オンライン等を活用した「にし阿波就農・移住応援隊」による農業研修支援者数【再掲】 ⑰→→㉑年間5人以上	○	○		○	
153	●ニューノーマルに対応した幼・小・中・高へのSDGs教育実施回数【再掲】 ⑰→→⑲～㉑年間4回以上	○	○			
154	●「にし阿波・食と農の名人」認定数（累計） ⑰8人→㉑32人		○			
155	●ニューノーマルに対応した国内外からのボランティア等との交流活動件数 ⑰→→㉑年間16件以上	○	○		○	
156	●ニューノーマルに対応した農山漁村（ふるさと）協働パートナーとの協働活動実施数 ⑰5件以上→⑲～㉑年間8件以上	○	○			
157	●中核農家モデル（年間所得500万円を目指したモデル） ①夏秋なす+ブロッコリーなど ②夏秋いちご+促成（冬春）いちごなど ③ぶどう+露地野菜など ④畜産（肉用牛、酪農、養鶏） 中核農家モデル経営体数（累計） ⑰30経営体→㉑55経営体		○			

数値目標 番号	施策・数値目標	三つの国難			二つの社会	
		新型コロナ	人口減少	災害列島	デジタル	グリーン
158	●女性・高齢者モデル ①いんげん+ピーマンなどの野菜 (かあちゃん野菜等) ②山菜+かんしょ(加工用)または雑穀・薬用 植物など ③そば+ごうしゅいもなど 女性・高齢者モデル数(販売額50万円以上) (累計) ①70戸→②120戸		○			
159	●鳥獣被害防止施設の整備集落数(累計)【再掲】 ①159集落→②185集落		○			○
160	●鳥獣被害対策モデル集落の育成(累計)【再掲】 ①2集落→②22集落		○			○
161	●農業用機械・施設等の整備数 ①9件→②年間10件以上		○			
162	●用排水路・農道等の事業実施により受益を受けた 集落数(累計) ①53集落→②76集落		○			
163	●スマート農業に取り組む経営体数(累計) ①2経営体→②8経営体		○		○	
164	●ドローンによる農業散布面積 ①→→②20ha		○		○	
165	●新規就農者育成数 【農業次世代人材投資事業(経営開始型)受給対象者数】 ①5人→②年間5人以上		○			
166	●GAP認証取得件数(累計) ①18件→②26件		○			○
167	●農産物直売所の売上額 ①9.7億円→②10.5億円		○			
168	●新商品開発件数(乾燥野菜、みまから等) (累計) ①→→②40件		○			
169	●農林産物や加工品等の輸出金額 ①93百万円→②130百万円		○			
170	●オンライン等を活用した商談会の開催回数 ①→→②1~③3回以上	○	○		○	
中項目2 森林・林業を核とした「地方創生」						
主171	●素材生産量【主要指標】 ①198,173m ³ →②253,000m ³		○		○	○
172	●林内路網開設延長(累計) ①3,425km→②3,820km		○			○
173	●森林経営計画の策定面積(累計) ①13,453ha→②17,500ha		○	○	○	○
174	●「にし阿波循環型林業支援機構」の支援による造林面積【再掲】 ①54ha*→②年間60ha *過去3年平均		○	○		○
175	●次代につながる「木育」普及活動の実施回数(累計) ①→→②12回		○			○
176	●フォレストキャンパス等での 林業体験実習件数(累計) ①7件→②18件		○			○
177	●新規林業就業者数(累計) ①110人→②170人		○			○
178	●森林プロフェッショナル育成者数(累計) ①131人→②160人		○			○
179	●森林経営管理に関する調査計画全体に対する進捗率(美馬管内)【再掲】 ①→→②25%		○	○		○
180	●森林経営管理に関する調査計画全体に対する進捗率(三好管内)【再掲】 ①→→②15%		○	○		○

数値目標 番号	施策・数値目標	三つの国難			二つの社会	
		新型コロナ	人口減少	災害列島	デジタル	グリーン
中項目3 国内外との交流を通じた商工業の振興						
181	●にし阿波ならではの 新ビジネス等の創出件数 ⑰1件 → ⑲～⑳年間1件以上		○			
182	●販路開拓に向けたリアルとオンラインでの ハイブリッド型 プロモーション及び新規商談件数 ⑰ → ⑳年間30件以上	○	○		○	
183	●「千年のかくれんぼ」ブランドの 登録品目数（累計） ⑰ → ⑳24件		○			
主184	● サテライトオフィス等誘致企業での雇用者数 （累計）【主要指標】 ⑰83人 → ⑳120人	○	○		○	
185	● 庁舎内テレワーク拠点の利用者数（累計） ⑰ → ⑳500人	○	○		○	
186	● ワーケーション等を実施する国内外企業数【再掲】 ⑰ → ⑳15社	○	○		○	
合計		37	118	95	39	39
再掲		7	13	6	5	5
合計一再掲		30	105	89	34	34

全目標数 (再掲含む)	再掲数	全目標数 (再掲除く)
186	16	170